第5章 基本計画の骨子

基本計画の全体像

上位計画

第2次村上市総合計画

やさしさと輝きに満ちた笑顔のまち村上 (平成29年度~令和3年度) 平成 29年3月策定

村上市人口ビジョン

村上市総合戦略 【重点戦略】

村上市森づくり基本計画

一森づくりの基本理念 ーー

みんなで取り組む・ 村上の持続可能な森づくり

く3つの目標像>

目標1:森林資源の循環利用と

林業の成長産業化の両立

目標2:持続可能な開発目標(SDGs)に 貢献する森林・林業・木材産業

目標3:村上の魅力あふれる

「もり」×「林業」×「ひと」づくり!

関連計画等

村上市森林整備計画

(自 令和 2年4月1日 至 令和12年3月31日) 令和2年3月策定

村上市特定間伐等 推進計画

平成 25 年 11 月策定

森林経営管理制度における 村上市森林経営ガイドライン (令和2年5月)策定

取組の基本方針

1 ICT 技術等を活用した 効率的かつ魅力ある 林業の実践

既存補助事業や森林環境譲与税を活用 し、ICT 技術等を活用した効率的かつ魅 力ある林業を実践しつつ、地球温暖化や 山地災害の防止に貢献する森林整備を 推進します。

2 村上市産材の利用促進

村上市産材のサプライチェーンを構築し、 市内の公共施設等のほか、地域住民への木 材利用に対する理解の促進を図り、様々な 場面で村上市産材の利活用を進めます。

3 村上の山や木のことを 世代を超えて伝えてい く取組の実践

村上の山や木のことを子供たちから大人 まで、世代を超えて伝えていく取組を実 践します。

森づくりから家づくり まで、村上の未来を 担う人づくり

将来にわたって村上の森を守り、林業や 木材産業が発展していくための礎として の人づくりに取り組みます。

具体的な取組内容

- (1) 航空レーザ測量と正確な森林情報の整備
- (2) 森林の実情に即した計画的な森林整備
- (3) ICT を活用したスマート林業の実践
- (4) 施業効率化のための路網整備と適切な維持管理
- (5) 林業従事者の技能向上
- (6) 効率的な造林作業と苗木生産の取組

問題点・課題

- 森林簿と現地の実態があわない部分がある
- 森林整備の重点化 (株業経営に適した森林と条件不利森林の区分)
- ・獣害対策を考慮した森林整備
- 境界の明確化、地形図の精度不足
- ・林業のイメージ改善が必要
- =・生産性の向上、低コスト化
- ・路網が不足している
- -・林道の維持管理・補修がされていない
- ・技術の伝承、世代交代ができていない
- ・林業のレベルアップが必要
- ・低コスト再造林技術の確立、苗木ストックの確保
- (1) 川上から川下までを通じた村上市産材の サプライチェーンの構築
- (2) 市産材の高付加価値化や P R の取組
- (4) 村上市産材利用に対する補助
- (5) 薪や木質ペレット等、市産材のエネルギー利用 一
- (6) 広葉樹資源の利活用・

- ・市産材(KD材)が欲しい時に手に入るように 村上市産材の供給体制の整備
- ・強度が優れているなど品質は良いが価格が安い
- (3) 村上市産材を使った魅力ある施設づくりや新商品開発 ・木材利用の需要喚起、消費者ニーズの変化への対応
 - ・施主だけでなく、工務店への補助が効果的
 - ・脱炭素社会への対応
 - ・広葉樹資源も豊富、「村上木彫堆朱」等の伝統的産業

- (1) 木育・森林環境教育活動の実践
- ①総合的な学習の時間等を活用した木育・森林環境教育活 動の実践
- ②木育インストラクターの養成
- ③村上の山や木を活用した体験型プログラムの実践
- ④村上の家づくり勉強会の企画・開催
- ⑤村上の森や木に触れ合うことのできる施設の整備
- ⑥市民向けの講演会やシンポジウム等を活用した普及啓発
- (1)人材育成・担い手確保のための新たな事業の展開 ①インターンシップによる職業体験
- ②村上の技術伝承講座と勉強会の企画・開催
- ③次世代を担う若手による新しい取組の実践
- ④地域外の人材が地域の担い手になるように 都市域に向けた情報発信・PR活動、都市住民のUJI ターンを増やす取組等

- ・山のことや木のことを家族から教わることがなく なった
- ・若い世代の木離れ
- ・村上が林業地であることを市民が知らない
- ・地元の木を利用するという意識の普及・啓発が必要
- ・村上の森林の現状を知ってもらうことが必要
- ・林業や製材、家づくりに関わる人材・担い手不足 林業従事者が減少している 技術の伝承、世代交代ができていない 後継者がいない

大工の減少

熟練技能者の高齢化

2

取組の現状と計画目標一覧

取組の現状と計画目標一覧

		- Dollar	光水C可圖口係 吳	役割分担							
	取組内容	現 状	計画目標	林野庁	新潟県	村上市	林業事業体	木材加工業者	工務店等	その他関連団体	
1	1 ICT 技術等を活用した効率的かつ魅力ある林業の実践					•	•				
	(1) 航空レーザ測 量と正確な森 林情報の整備 (P42)	航空レーザ測量による 森林情報整備 13,100ha	市内の民有林約 52,000ha の航空レーザ 測量による森林情報整備 (令和 7 年度)		•	•					
	(2)森林の実情に 即した計画的 な森林整備 (P44)	素材生産量(令和元年) 61,389m ³	素材生産量 90,000m³ (令和 7 年) 135,000m³ (令和 12 年)	•	•	•	•				
	(3)ICT を活用し たスマート林 業の実践 (P51)	I	航空レーザ測量により取得した地形データ等の利活用推進と、これに向けた補助制度の創設(令和7年度)		•	•	•				
	(4) 施業効率化の ための路網整 備と適切な維 持管理 (P53)	路網密度 19.9m/ha	重点的な森林整備区域 の路網密度 60m/ha (令和 12 年度)	•	•	•	•				
	(5)林業従事者の 技能向上 (P55)	森林総合監理士 (フォレスター) 3人 森林施業プランナー 9人 森林経営プランナー 0人	森林総合監理士 (フォレスター) 5人 森林施業プランナー 18人 森林経営プランナー 9人 (令和12年度)		•	•	•				
2	2 村上市産材の利用促進					•	•	•	•	•	
	(1) 川上から川下 までを通じた 市産材のサプ ライチェーン の構築 (P59)	_	サプライチェーンの構築 (令和 7 年度)			•	•	•	•		
	(2) 市産材の高付加価値や PRの取組 (P60)	都市部との市産材の利 用促進に関する協定の 締結 1 自治体	都市部との市産材の利用 促進に関する協定の締結 5 自治体 (令和 12 年度)			•	•	•	•	•	

取組の現状と計画目標一覧

				役割分担							
	取組内容	現 状	計画目標	林野庁	新潟県	村上市	林業事業体	木材加工業者	工務店等	その他関連団体	
2	2 村上市産材の利用促進					•	•	•	•	•	
	(3)市産材を使っ た魅力ある施 設づくりや新 商品開発 (P61)		公共施設の木質化 10 棟 (令和 12 年度)			•	•	•	•	•	
	(4)市産材利用に 対する補助 (P65)	市産材利用に対する 新たな補助制度の創設 補助制度 1事業	市産材利用に対する 新たな補助制度の創設 補助制度 2事業 (令和12年度)		•	•					
	(5)薪や木質ペレット等、市産 対のエネルギ ー利用 (P68)	木質バイオマス施設の 設置 0 施設	木質バイオマス施設の 設置 10 施設(令和 12 年度)	•	•	•	•	•	•	•	
	(6)広葉樹資源の 利活用 (P71)	広葉樹を活用した新たな 商品開発 商品数 3品	広葉樹を活用した新たな 商品開発 商品数 5品 (令和12年度)	•	•	•	•	•	•	•	
3	村上の山や木のことを世代を超えて伝えていく取組の実践					•				•	
	(1) 木育・森林環 境教育活動の 実践 (P73)	木育インストラクター 20 人(令和 2 年度)	木育インストラクター 100 人(令和7年度)			•				•	
4	4 森づくりから家づくりまで、村上の未来を担う人づくり				•	•	•	•	•		
	(1) 人材育成・担 い手確保のた めの新たな事 業展開検討 (P78)	林業及び 木材産業就労者数 林業 191 人 認定事業体数 8 事業体	林業及び 木材産業就労者数 林業 230人 認定事業体数 10事業体 (令和 12年度)		•	•	•	•	•		